

WHO ファクトシート

視力障害と失明

Vision impairment and blindness

2017年10月

重要な事実

- ・推計 2 億 5300 万人の人々が視覚障害を抱えて生活している。3600 万人は目が見えず、2 億 1700 万人は中度から重度の視覚障害を持っている(1)。
- ・失明や中度又は重度の視覚障害を持つ人々の 81%は 50 歳以上である(1)。
- ・世界的には、慢性眼疾患が視力を失う主原因である。屈折異常で矯正していないことや白内障で手術していないことは、視覚障害の 2 大原因である。低所得国では未手術の白内障は失明の最大原因であり続けている。
- ・トラコーマやオンコセルカ症のような感染性の眼疾患の罹患率は、この 25 年間にわたり大幅に減少した。
- ・全ての視覚障害の 80%以上は予防も治療も可能である。

参考文献

(1) Bourne RRA, Flaxman SR, Braithwaite T, Cicinelli MV, Das A, Jonas JB, et al.; Vision Loss Expert Group. [Magnitude, temporal trends, and projections of the global prevalence of blindness and distance and near vision impairment: a systematic review and meta-analysis](#). Lancet Glob Health. 2017 Sep;5(9):e888–97.

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Vision impairment and blindness ファクトシート原文は [こちら](#)